

令和 6 年第 3 回定例会

(9 月 3 0 日)

一 般 質 問 資 料

(2 回 目)

自由民主党千葉市議会議員団

向 後 保 雄

令和 6 年 第 3 回定例会（9 月 3 0 日）

一括質問

通告時間：20 分

1. 新加曽利貝塚博物館について

新加曽利貝塚博物館について2回目の質問を致します。

先ほどのご答弁では、開館まで5年かかるとの事なので、仮に来年再入札しても、開館は2030(令和12)年です。1964(昭和39)年に貝塚の保存と博物館の建設が決定した際、大規模な署名運動が展開されるなど、加曽利貝塚は全国で初めて市民主導による遺跡保存が実現した事例として、我が国の文化財保護の歴史に大きな影響を与えた遺跡であると聞いております。新博物館についても同様に、市民の期待が大きいことから、開館に向けて着実に進めていただけるようお願い致します。新博物館のコンセプトは、今後私たちが持続可能な社会を実現するための手掛かりにもなると考え、「生きている縄文、学び、体験し、考えるーそれは未来への道しるべー」をコンセプトとするのご答弁でした。このコンセプトが感じることのできる新博物館が実現できるよう期待しております。

次は、開館後についてです。

新加曽利貝塚博物館から、遺跡まで距離があることについては、加曽利貝塚に向かう途中、「わくわく感」を高めるとのことですので、ボランティアの皆さんが作成した縄文土器を展示する等工夫をしていただくよう要望いたします。

ところで、私は先月 5 日から 2 泊 3 日で岩井議員、蛭田議員、そのほか県会議員 2 名と隠岐の島に行っていました。隠岐の島では、隠岐ユネスコ世界ジオパークというユネスコに認定されたジオパークを視察してまいりました。施設は、「隠岐自然館」といいまして、単に貴重な地質資源が見られるだけではなく、何億年も続いている、隠岐が形成された「大地の成り立ち」、その大地の上に育まれた「独自の生態系」、今日まで受け継がれてきた「人の営み」をひとつの物語として知ることができます。説明をしていただいた一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構の野邊^{のべ}業務執行理事のご説明によると、隠岐のみならず日本の生い立ちがわかるとのことでした。私が注目したのは、この施設の経済波及効果です。

観光客が増加し、観光収入の増加をもたらし、観光業の発展に伴い雇用の創出を生み、観光客の消費が地域内で循環し地元経済が活性化されているということです。

そこで伺いますが、

一つに、新博物館は、どのように来訪者を獲得するのか伺います。

二つに、新博物館の開館により期待される経済波及効果について伺います。

2. 高齢者の移動手段の確保と都心への交通網について

次に、高齢者の移動手段の確保についてです。ご答弁ありがとうございます。ご答弁によれば、桜木地区においては約1年間の実証調査を経て、本年5月から週3日の本格運行に移行したとのこと。その他都賀の台地区では今年度中の本格運行を目指すとのこと。また、幕張ベイタウン地区では、9月から中長期の実証調査を開始するとのこと。当局のご努力に感謝いたします。私が高齢者から移動手段の確保についての要望を頂いたのは比較的千葉駅に近い方達でしたが、移動手段の確保は高齢者にとって切実な問題ですので、様々な地域のニーズに合った交通体系の構築が求められていると思います。そこで伺いますが、このような課題に対して今後どう取り組んでいくのか2回目の質問をいたします。

また、都心への交通網については、ご答弁によれば各鉄道事業者と意見交換を行っていくとのことですので、京葉線の快速便の復活とともに総武線利用者の都心への市民の交通アクセスの利便性向上のため、是非とも実現に向けて対応していただくことを要望いたします。都心から千葉市への来訪者の増加にも寄与するとの考えもあると思いますので、今後、千葉県 JR 線複線化等促進期成同盟に要望を上げる等実現に向けて協議のほどよろしくお願いいたします。

最後の福祉施設については、次の 3 回目で所感と要望を述べさせていただきます。

以上で 2 回目の質問を終わります。ご答弁宜しくお願い致します。